

一 般 質 問 発 言 通 告 表

平成26年6月市議会定例会

順	質問者	質問事項	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求める者
1	5 番 長南 誠	1 観光行政について	<p>1 村山市観光の現状について</p> <p>(1) 観光の果たす役割と今後の観光の方向付けはどのように考えるか</p> <p>(2) 市内観光地の掘り起こしとその活用はどのようにしているのか</p> <p>(3) 幕井ランド計画における大型子ども遊び場計画はどうか</p> <p>(4) 基点温泉北側分湯管の改修と民間への販売促進計画はないのか</p> <p>2 山形県デスティネーションキャンペーンについて</p> <p>(1) デスティネーションキャンペーンの村山市における事業展開とその効果をどのように捉えているのか</p>	市 長 副市長 関係課長
2	3 番 佐藤 敏彦	1 村山市第5次総合計画の策定について	<p>1 10年後の人口計画（想定）の基本的な考え方は 本市の人口は、昭和29年の合併以降減少が続いている なんとか増やしたいと、これまでの計画では、目標人口を設定してきたが、このたびの第5次総合計画では、どのように考えているのか</p> <p>2 計画に市民の意向をどのように取り入れるのか アンケート調査等の実施はするのか</p> <p>3 他計画（都市計画・農業振興計画等）との調整は</p>	市 長 農業委員長 関係課長
		2 農業振興について	<p>1 本市の将来の農村の姿をどのように考えているか</p> <p>2 特色ある本市の施策について</p> <p>3 農業所得の向上、目標値（所得）はどのように考えているか</p> <p>4 農業委員会制度の見直しが検討されているが、どのように受け止めているか</p>	

順	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
3	1 番 井澤 秋雄	1 地方都市リノベーション事業の検討について	1 楯岡高校閉校後の既存ストックの活用を考えた中心市街地のリノベーション（再構築）について 2 同校敷地北側に接する都市計画道路などの整備について	市 長 関係課長
		2 人口減少社会におけるまちづくりの方向性について	1 将来像がみえる計画的、段階的に前進するまちづくり 2 雇用、産業の充実を目指すまち 3 車依存の軽減と公共交通利便性の向上を目指すまち 4 「次世代に引き継ぐまちづくり基本条例」制定の考え	
		3 村山市公会計の整備公表について	1 いわゆる行革推進法の趣旨を踏まえ、国の指針により要請されている財務4表の整備公表について (財務4表) (1) 貸借対照表 (2) 行政コスト計算書 (3) 資金収支計算書 (4) 純資産変動計算書	
4	4 番 布川 淳一	1 行政委員と地区長の二重構造の解消について	1 行政委員の役割と、地区長との役割について 現実を把握した場合、改革が必要と考える 制度改革を含めた見直しを求める (1) 行政委員規則の見直し (2) 行政委員報酬と、行政連絡負担金との整合性	市 長 関係課長
		2 まちづくり協議会と地域市民センターとの関係性の再考を求む	1 各自治会の役割、仕事などと、まちづくり協議会との整理を図り、活発なまちづくり運動に繋げるために何をなすべきか (1) 自治組織の見直し (2) 本庁とセンターとの連携について	

順	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
5	7番 川田 律子	1 高齢者が安心して暮らせる社会を	<p>1 政府がすすめる医療介護総合法案で村山市の高齢者はどうなるのか</p> <p>(1) 要支援者を保険制度の枠外に訪問・通所介護を代替サービスに置きかえることで、要支援者への影響は</p> <p>(2) 特養入所は、要介護3以上に限定されるが、その影響は</p> <p>(3) 在宅でも施設でも利用料が負担増になるのでは</p> <p>(4) 病床の削減は、本市の高齢者に影響はないのか</p> <p>2 安心して高齢期を暮らせるまちへ独自施策の拡充を</p> <p>(1) ひとりぐらしや認知症の高齢者への見守りについて</p> <p>(2) 市独自の介護保険料や利用料の軽減策の拡充を</p> <p>(3) 介護用品（紙おむつ）助成の拡充を</p>	市長 関係課長
		2 福島原発事故の食物による内部被爆から市民を守るために	1 食物に含まれる放射性物質を測定する機器の導入を	
6	11番 能登 淳一	1 高齢者対策としてのGPSの活用の検討について	1 危機管理・防災上あるいは人命救助の観点から申請によるGPS活用を	市長 教育長
		2 市教育振興基本計画について	1 骨子案における基本方針と主要施策について問う	
		3 産業振興策について	<p>1 増員されるコーディネーターの役割について</p> <p>2 新米政策の農地水政策の対応について</p>	

順	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
7	9番 中里 芳之	1 子ども・子育て新制度で村山市の保育はどうか	1 保育を市場に委ねることが本質の新制度は問題だがどう考えるか (1) 入所までの手続き、保育時間、保育料等はどうか (2) 村山市子ども・子育て支援事業計画について ①多様化する保育サービスの充実のため、保育施設の民営化はなぜ必要なのか ②保育士・調理師配置数の推移と採用状況について ③給食業務の民営化はニーズに対応するものか ④給食の民営化について、保護者からの意見聴取等について ⑤食育や地産地消の状況について	市長 教育長 関係課長
		2 村山市の宝である自校・自園直営給食を守るべきではないか	1 小学校給食の民間委託検討はなぜ必要なのか 2 調理師数の推移と採用状況について 3 民間委託は食育の推進に逆行するのではないか (1) 食育・地産地消の状況について 4 今後の検討のすすめ方について	
		3 いつまでも住みつけられる地域づくりのために公共交通のさらなる整備を	1 交通基本条例の制定を 2 生活交通についてきめ細かな調査を 3 デマンド乗り合いタクシーの拡充を	
8	14番 茨木 久彌	1 市長の政治姿勢について	1 就任10ヶ月における主な村山市の現状についての所感と認識について 2 これまでの主な取り組みと今後の課題について	市長 教育長
		2 定住人口の増大を図る居住環境の整備について	1 冬季間の雪捨て場の確保について 2 楯岡東部並びに県道(旧13号線)及び楯岡商店街の流雪溝整備について 3 流雪溝のある宅地造成と宅地購入者への優遇策について	
		3 交流人口の拡大と賑わい、夢のある元気な再生村山の創造について	1 市民の意識改革について 2 教育現場における郷土愛の指導について 3 楯岡商店街区域での定期市の開催について 4 再生村山市へのアイデアの公募について 5 徳内神社と居合神社への顕彰について	

順	質問者	質問事項	質問の要旨	答弁を 求める者
9	2番 長谷川 元	<p>1 むらやま子育てあいあるプランに基づいて</p> <hr/> <p>2 村山市のブランド力について</p>	<p>1 市内の現在の公立保育園の現状について (1) 市内公立保育園の適切、効率的な運営が できているか (2) 職員の雇用体系などの課題についての 認識は</p> <p>2 プランの中にある5つの課題について (1) 執行部の課題認識の共有ができている のか (2) 課題解決の為に必要な方策は</p> <hr/> <p>1 村山市のイメージ形成について考えは (1) 安売りをせずに価値を上げる為の方策 が必要と考える その為にまず取り組 むこととして情報発信の方法に工夫が 必要 ①ホームページのリニューアル ②Facebook ページの体制強化と充実 ③関連団体との連携強化 ④村山産業高校との連携など新たなプロ ジェクトの立ち上げ</p>	市長 関係課長
10	16番 大山 正弘	1 楯岡高等学校跡地 再生利用について	<p>1 楯岡高校跡地については、これまでも 様々な意見が出され、議論もなされてき ましたが、県の所有地としての意見を踏 まえ、北村山公立病院の実習を行える看 護師専門学校の設定を県へ希望してはど うか</p> <p>2 医療の質の向上と活性化は、常に要望 されるもので、楯高跡地に看護師学校が 存在することにより、村山地方（山形市 等も含め）の地域医療への貢献と村山市 の医療の活性化に寄与できるのではない か</p> <p>3 新聞でも報道された平成26年度山形 県当初予算における4つの成長戦略につ いて、吉村知事は「2014年度は、こ れまでの施策の成果を基にし、将来ビジ ョン実現のための4本の成長戦略を一層 加速させていく年になる。」と発言して いる。そのなかでも福祉・医療・教育の 充実が成長戦略の1つとされており当市 としても看護師学校誘致を強く県へ要望 していくべきではないか</p>	市長